Creative Enzymes®

ネイティブポルシンエステラーゼ

Cat. No. NATE-0237

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	エステラーゼは、エステルを酸とアルコールに分解する加水分解酵素です。
用途	豚肝エステラーゼは、製□および工業用途のためにペンタアセチルカテキンとエピカテキンの加水分解を触媒するために使用されます。豚肝エステラーゼは、有機化学におけるキネティック解決と非□称合成に一般的に使用されます。豚肝からのエステラーゼは、光線力学療法のための光感受性に□する5-アミノレブリン酸ペプチド前□体の効果を評価する研究に使用されました。豚肝からのエステラーゼは、冠状動脈および末梢血管における部位特異的動脈硬化遺伝子発現がその後の□動病□の発生とどのように相関するかを調□する研究にも使用されました。Creative Enzymesからの酵素は、空洞繊維超濾過膜に固定化され、メソジエステルの非□称加水分解に使用されました。Creative Enzymesからのエステラーゼは、湿潤接着を模擬した条件下で調製された接着剤からメタクリル酸（MAA）および2-ヒドロキシエチルメタクリレート（HEMA）の放出に□するその効果を調□するために使用されました。また、さまざまなマトリックスにおけるカーバキシルエステラーゼ活性が、Ceriodaphnia dubiaおよびHyalella azteca に□するペルメトリンおよびビフェントリン関連の毒性を除去する能力を調べるためにも使用されました。
別名	EC 3.1.1.1; アリエステラーゼ; B-エステラーゼ; モノブチラーゼ; コカインエステラーゼ; プロカインエステラーゼ; メチルブチラーゼ; ビタミンAエステラーゼ; ブチリルエステラーゼ; カルボキシエステラーゼ; カルボキシレートエステラーゼ; カルボン酸エステラーゼ; メチルブチレートエステラーゼ; トリアセチンエステラーゼ; カルボキシルエステルヒドロラーゼ; ブチレートエステラーゼ; メチルブチラーゼ; α-カルボキシルエステラーゼ; プロピオニルエステラーゼ; 非特異的カルボキシルエステラーゼ; エステラーゼD; エステラーゼB; エステラーゼA; セリンエステラーゼ; カルボン酸エステラーゼ; コカインエステラーゼ; 9016-18-6

製品情報

種	豚の
由来	豚の肝臓
形態	タイプI、凍結乾燥粉末、<10%のバッファー塩を含む粗粉末；タイプII、凍結乾燥粉末；わずかにベージュ；タイプIII、硫酸アンモニウム懸濁液、3.2 M (NH4)2SO4中の懸濁液、pH 8。
***EC*番号**	EC 3.1.1.1
***CAS*登□番号**	9016-18-6
活性	タイプI、> 15ユニット/mg 固体; タイプII、> 50ユニット/mg; タイプIII、> 150ユニット/mg タンパク質 (ビウレット)。
単位定義	1ユニットは、pH 8.0、25°Cで1分あたり1.0μmoleのブチルエステルをブチル酸とエタノールに加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C